

【高等学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）  
**A**：十分達成できている  
**B**：おおむね達成できている  
**C**：やや不十分である  
**D**：不十分である

学校名	佐賀県立唐津工業高等学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	授業でのICT機器の積極的な活用や、「数学会」等による基礎学力の定着の取組みにより、生徒の学習意欲や授業に対する興味・関心を高めることができた。また、地域貢献・連携により、地域から信頼される学校に変革している。生徒指導については、各科と各学年の連携を密にしながら全職員で情熱を持って指導に当たることにより、生活全般における規範意識の醸成に取り組んでいる。特に、学校独自の取組として、ヒューマントレーニングを実施し、道徳心の育成やマナーの向上に取り組んでいる。
------------------	---

2 学校教育目標	21世紀を担う心身ともに健康でたくましく、知徳体の調和のとれた、視野の広い、工業や社会の発展に貢献できる人材を育成する。 (学校経営ビジョン) 「ものづくりによる人づくり」「部活動による人づくり」を柱として生徒が入学して良かった、保護者が入学させて良かったと思う学校づくり
----------	--

3 本年度の重点目標	<b>① いじめ・暴力行為の防止と早期発見・迅速な対応</b> <b>④ 規範意識の高揚と基本的生活習慣の定着</b> <b>⑦ 資格取得やコンテストへの積極的な挑戦</b> <b>② ものづくりによる「地域連携・貢献」の充実</b> <b>⑤ 全生徒の進路実現のための進路指導の充実</b> <b>③ 部活動の参加率・定着率の向上と活動の活性化</b> <b>⑥ 清掃活動の充実と校内美化の向上</b>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	◎基礎学力の定着と夢の実現 (志を高める教育)	◎生徒に確かな基礎学力を身につかせ進路実現100%を達成する。	・学力向上のために行っている「数学会」(学び直しの時間)や各種小テストを定期的に実施し、生徒の基礎学力定着をはかる。 ・1年次より生徒が自らの将来について考え、進路希望を実現するために、個々に応じた適切な進路情報の提供や学習指導を適切に行い、生徒自らが主体的に進路を決定できるようにする。							教務主任 進路指導主事
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○規範意識、公共モラル・マナー、自他の生命尊重など、人格形成の一助となることを目指す。 ○「地域に愛される学校」を目指し、地域ボランティアへの積極的な参加(年間合計100名以上)を目指す。 ○ものづくりによるひとづくり。ものづくりによる「地域連携・貢献」によって、豊かな心を身に付ける。	・規範意識や道徳心の向上のため、本校独自の取り組みである「ヒューマントレーニング」を年間13回行い、公共やSNSの問題等に真摯に向き合い考え行動できるようにする。 ・ものづくりによる「地域連携・貢献」活動への積極的な参加を促し自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心などを醸成させる。							教務主任 特活主任 工務部長 生徒指導主事
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ問題の早期発見のためのアンケートを年間5回実施する。 ○いじめ問題が発生しないための環境づくりと啓発に取り組む。	・複数担任によるホームルームやアンケートの実施、各学年団による昼休みの校内巡回などを積極的にいじめ・暴力行為の防止と早期発見及び迅速な対応をおこないすべての生徒が安心して学校生活が送れるようにする。 ・「ヒューマントレーニング」を年間13回行い自他の生命を尊重する心、他者への思いやりの心などを醸成させる。							教育相談担当 生徒指導主事 教務主任
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ○自らの健康に気を付け、問題を改善しようとする態度や実践力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上 ○朝食をとって登校する生徒80%以上 ○健康診断後の受診率の向上を図る。(受診率30%以上を目指す) ○インフルエンザ等の感染症による学級閉鎖「0」	・生活習慣アンケート及び食に関する意識調査、健康状況調査を実施し、健康に関する意識付けを行う。 ・保健だよりを活用し、健康に関する情報に触れる機会を設け、心身の健康を保持増進するための態度を養う。 ・担任・部活動の顧問と連携し、異常があれば改善・回復するための行動が取れるようにする。							保健厚生部長
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○会議や事務の効率化を図り、教職員が生徒に丁寧に指導できる時間を確保する。 ○効果的な業務の遂行を工夫し、時間外在校時間を昨年度実績の20%削減を目指す。	・会議時間の設定や資料の事前配布を行う。また必要性に応じて、各部門間の事前調整を行う。 ・情報の共有化や、担当者の業務の進捗状況を共有し職員間のフォロー体制を強化する。							管理職

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別活動	○部活動によるひとづくり	○部活動参加率80%を目指す。	・入学式や集会などで部活動の教育的効果、人格形成に対する効果等を説明し入部を奨励する。1年生だけでなく、2年生の未入部生徒にも積極的に入部を奨励する。							特活主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------